

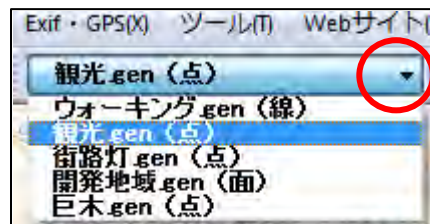
## 手順 2-2 登録した情報を編集する。

本ソフトウェアでは、ユーザーが登録した点・線・面のデータを簡単に編集することができます。「地図太郎PLUS」では注記レイヤも編集することができます。編集するには、対象とするレイヤを選択することから始めます。

### (1) 点・線・面データの追加、注記データの追加【編集】

あとからデータを追加したい場合も、まず対象となるレイヤを選択しておく必要があります。

①ツールバーの「編集レイヤの選択」から、編集対象のレイヤを選択しておきます。



②メニューバーから【編集】→【追加】を選択するか、ツールバーから  を選択します。

選択している編集レイヤの種類により、カーソルに「点」「線」「面」「注記」という文字が現われます。


「追加」モードは右クリックで解除されます。



③あとは前述の「点・線・面データの新規作成」と同様にデータを追加します。

「地図太郎 PLUS」ではさらに注記データも追加できます。



### 参考⑥ マウスの右クリック活用

画面のカーソルが  の場合、画面上を右クリックすると右図のポップアップメニューが表示され、メニューバーの【編集】と同様に追加・削除・移動・形状変更等を選択することができます。

#### 属性情報の確認・変更

追加  
削除  
移動・コピー  
線・面の形状変更

線の分割  
線の結合  
線の反転

画面のカーソルが  以外の場合、右クリックすると使用していた機能が解除され  に戻ります。

## (2) 点・線・面・注記データの削除【編集】

入力したデータを削除したい場合、対象となるデータが格納されているレイヤを選択しておく必要があります。

注記データは、「**地図太郎 PLUS**」だけです。

① ツールバーの「編集レイヤの選択」から、編集対象のレイヤを選択しておきます。

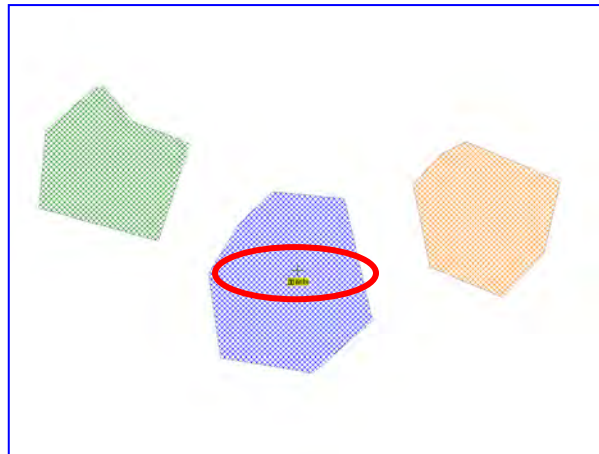
② メニューバーから【編集】→【削除】を選択します。

選択している編集レイヤの種類により、カーソルに「点削除」「線削除」「面削除」という文字が現われます。「**地図太郎 PLUS**」の注記削除では「注削除」という文字が現れます。



「削除」モードは右クリックで解除されます。

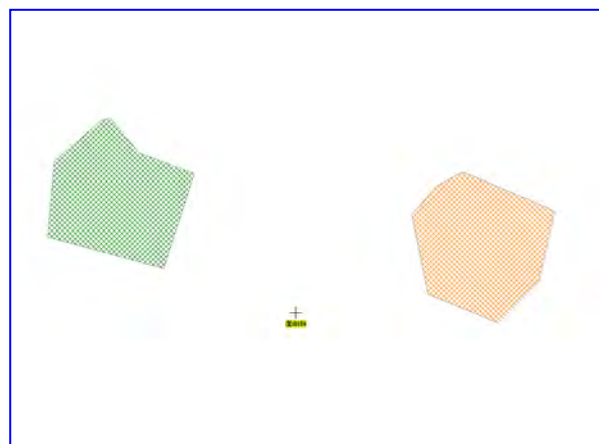
③ 削除するものをクリックします。

編集対象でないレイヤのデータをクリックしても選択されません。  
ドラッグすることにより範囲指定して一度に複数のデータを削除することも出来ます。



④ データが削除されました。

ツールバーの   で「元に戻す」「やり直し」をすることができます。ファイルの保存を行うと、それ以前に行った編集を元に戻すことはできなくなります。



### (3) 点・線・面・注記データの移動とコピー【編集】

入力したデータを移動やコピーしたい場合、対象となるデータが格納されているレイヤを選択しておく必要があります。

注記データは「**地図太郎 PLUS**」だけとなります。

① ツールバーの「編集レイヤの選択」から、編集対象のレイヤを選択しておきます。

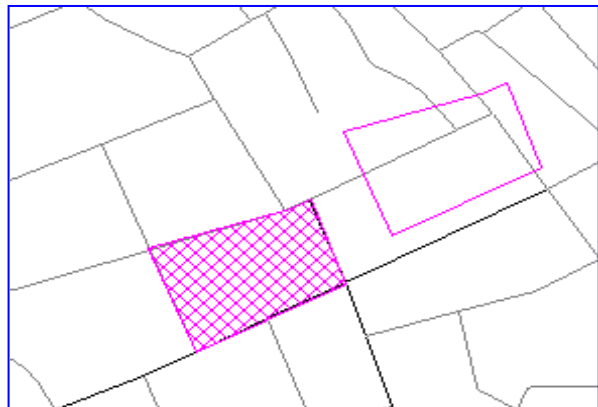
② メニューバーから【編集】→【移動・コピー】を選択します。

選択している編集レイヤの種類により、カーソルに「点移動」「線移動」「面移動」という文字が現われます。「**地図太郎 PLUS**」の注記データの移動とコピーでは「注移動」という文字が現れます。


「移動」モードは右クリックで解除されます

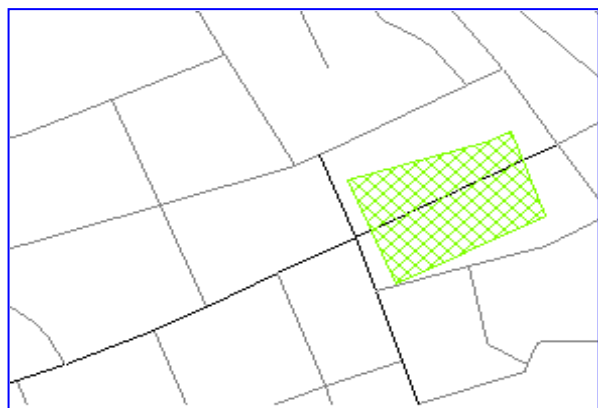
③ 移動するものをクリック選択して、新しい位置にドラッグします。  
移動させないでコピーする場合は、[Ctrl]キーを押しながらドラッグします。

編集対象でないレイヤのデータをクリックしても選択されません。  
ドラッグすることにより範囲指定して一度に複数のデータを移動することも出来ます。



④ 選択したデータを移動しました。

ツールバーの  で「元に戻す」「やり直し」をすることができます。ファイルの保存を行うと、それ以前に行った編集を元に戻すことはできなくなります。



## (4-1) 線・面データの形状変更【編集】

入力したデータの形状変更をしたい場合、対象となるデータが格納されているレイヤを選択しておく必要があります。

① ツールバーの「編集レイヤの選択」から、編集対象のレイヤを選択しておきます。

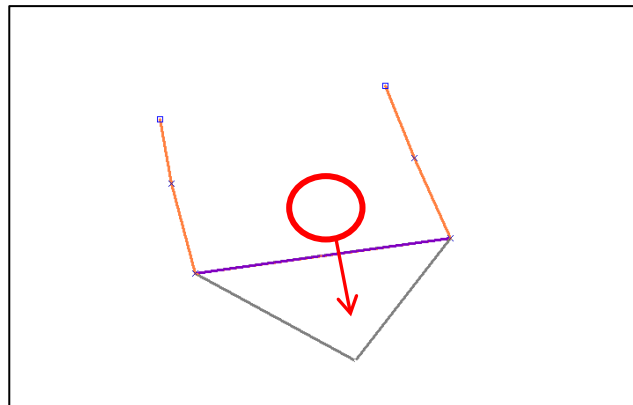
② メニューバーから【編集】→【線・面の形状変更】を選択します。

選択している編集レイヤの種類により、カーソルに「線形状」「面形状」という文字が現われます。

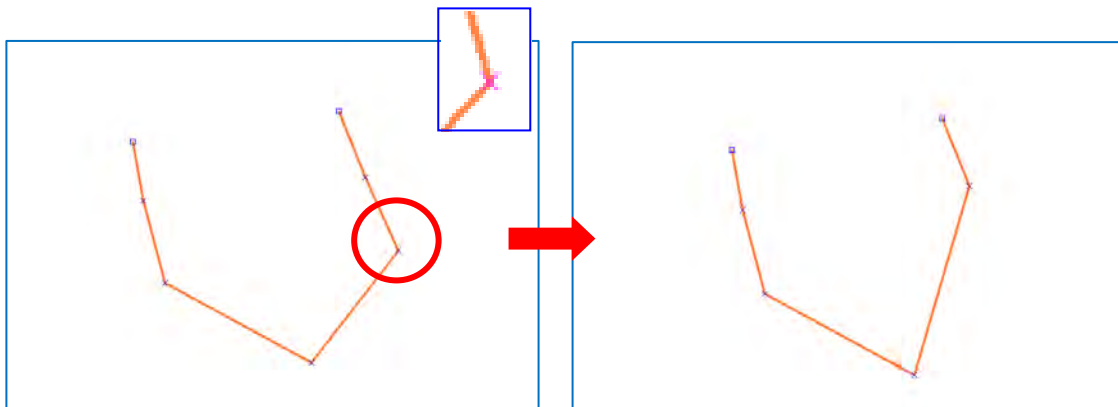
「形状」モードは右クリックで解除されます

③ 形状を変更したい線の上、あるいは面の外周線の上にカーソルをもってゆき、ドラッグすることで形状を変更します。

編集対象でないレイヤのデータをクリックしても選択されません。



※線や面の始点、終点、補間点（途中の点）の×を右クリックすることで、線の構成点を部分的に削除することができます。このモードは、線や面のユーザレイヤが編集対象に選択されている時のみ有効です。



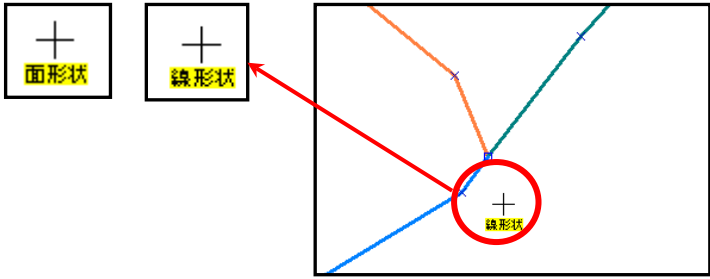
**(4-2) 線・面データの形状変更【編集】PLUS**

「地図太郎 PLUS」では複数の図形の接する場所の端点・補間点を簡単に選択して形状変更ができます。また、補間点を一括で削除することができます。

**端点・補間点の選択**

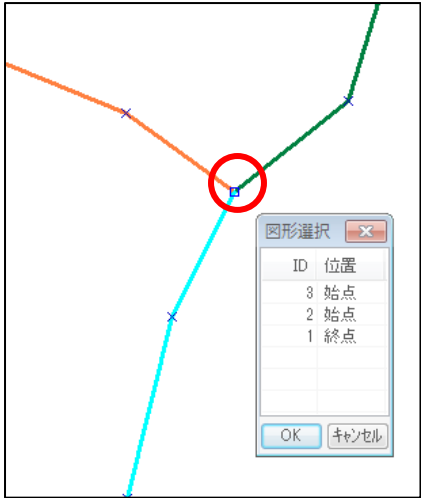
①メニューバーから【編集】→【線・面の形状変更】を選択します。

面の場合カーソルの下に「面形状」、線の場合「線形状」という文字が現れます。



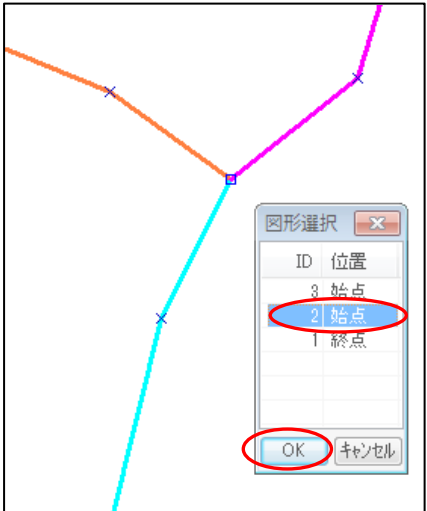
●線データの場合

①形状変更したい線の端点、または補間点が集まる場所をクリックすると、「図形選択」ダイアログが表示されます。



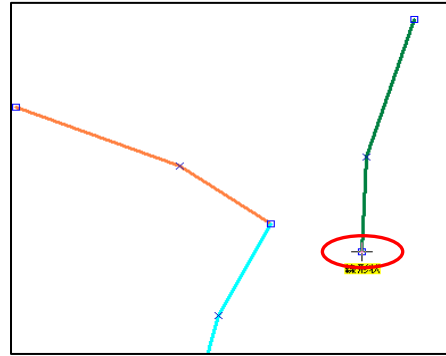
②「図形選択」のダイアログから選択する図形をクリックします。

選ばれた線が選択色に変わるのを確認したら、「OK」をクリックします。



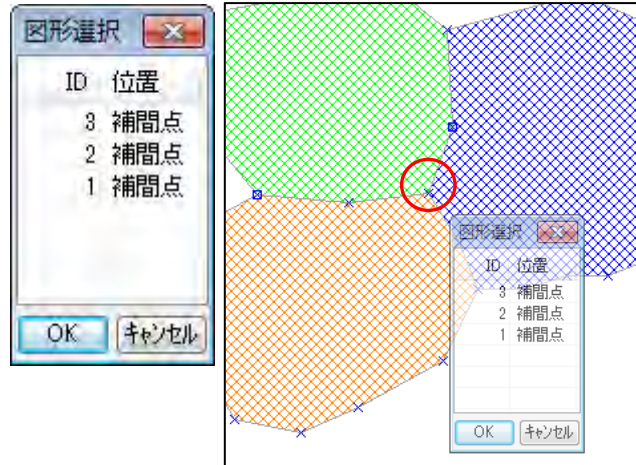
③端点または補間点をドラッグし形状を変更します。

右クリックすると【線・面の形状変更】を終了します。



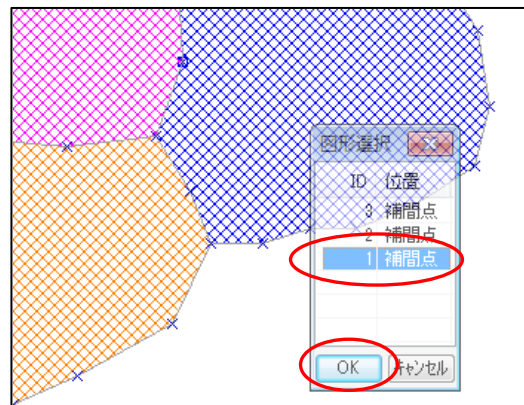
●面データの場合

①形状変更したい面の補間点が集まる場所をクリックすると、「図形選択」ダイアログが表示されます。



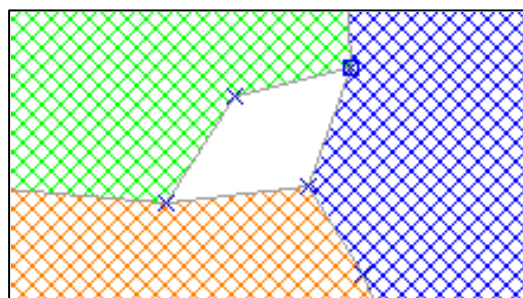
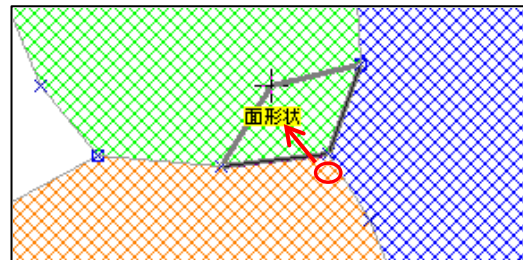
②「図形選択」のダイアログから選択する図形をクリックします。

選ばれた面が選択色に変わるのを確認したら、「OK」をクリックします。



③ノードまたは補間点をドラッグし、形状を変更します。

右クリックすると【線・面の形状変更】を終了します。

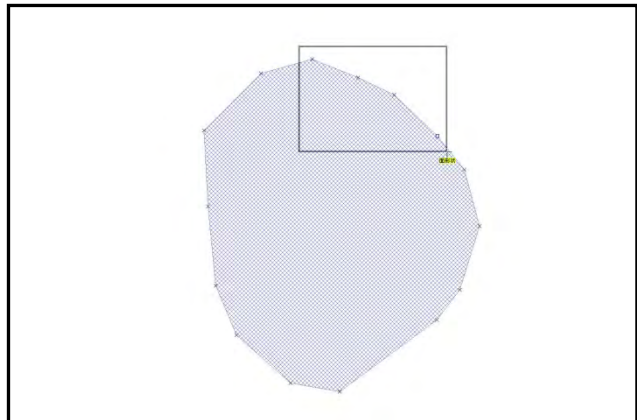




### 補間点の一括削除

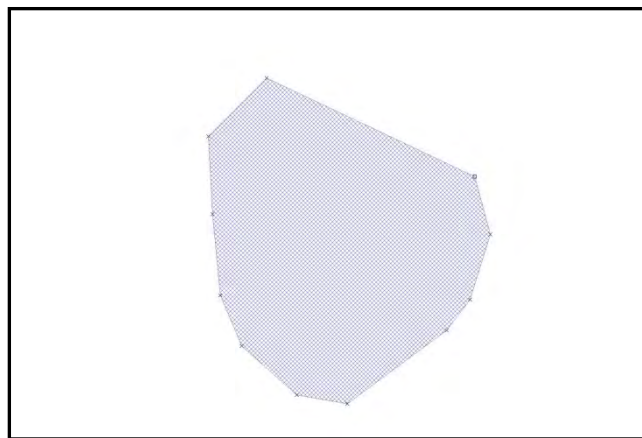
①メニューバーから【編集】→【線・面の形状変更】選択します。

②「右ボタン」を押しながら、削除したい補間点をドラッグで選びます。



③補間点が削除されます。

右クリックすると【線・面の形状変更】を終了します。



線データも同様に補間点を一括削除できます。

## (5) 線の分割・結合・反転【編集】

線の分割、線の結合、線の反転ができます

「地図太郎 PLUS」の線の反転は範囲指定ができます。

### ● [線の分割] (クリックした位置で線データを分割します。)

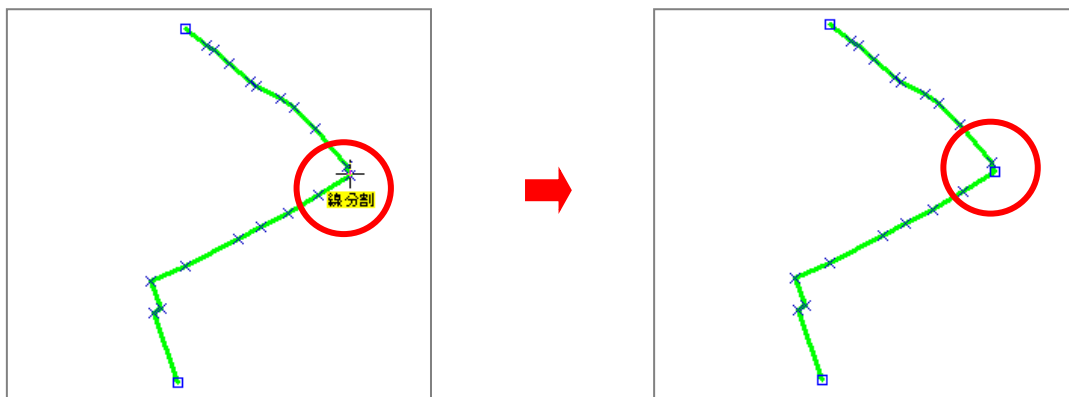
① ツールバーの「編集レイヤの選択」から、編集対象のレイヤを選択しておきます。

② メニューバーから【編集】→【線の分割】を選択します。

カーソルに「線分割」という文字が現われます。

「線分割」モードは右クリックで解除されます

③ 線上の分割したい位置にカーソルを移動しクリックすると、その位置で線を分割します。





● [線の結合] (2本の線データを結合します。)

① ツールバーの「編集レイヤの選択」から、編集対象のレイヤを選択しておきます。

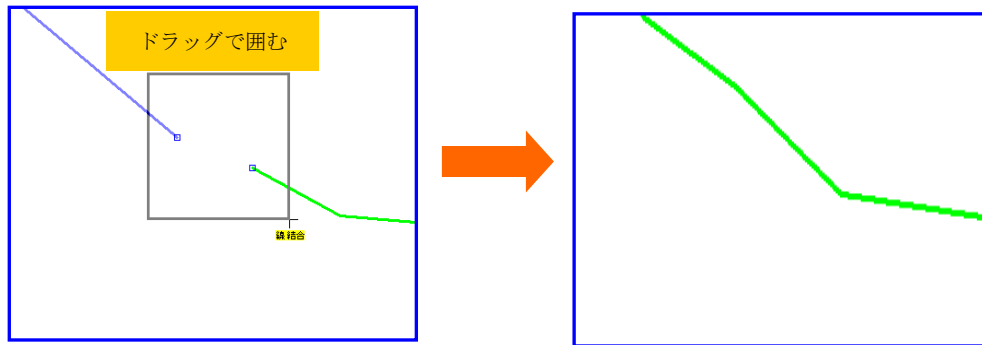
② メニューバーから【編集】→【線の結合】を選択します。

カーソルに「線結合」という文字が現われます。

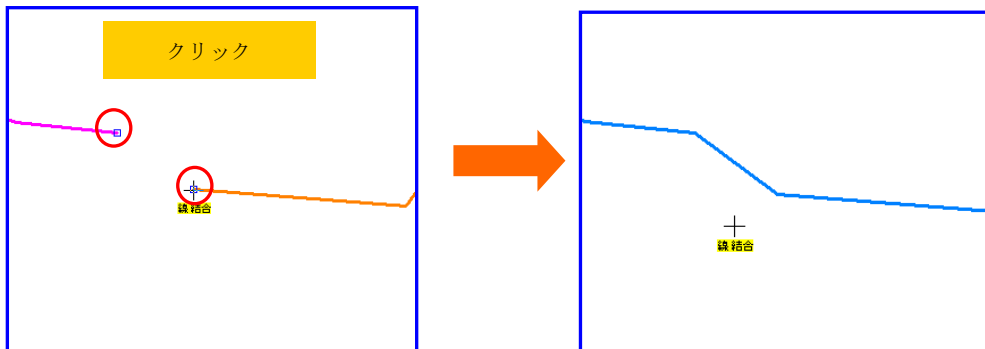
「線結合」モードは右クリックで解除されます

③ 結合する端点を選択すると、即座に結合されます。

・ 結合したい2つの端点をドラッグで囲み選択します。



・ [Ctrl]キーを押しながら、結合したい端点を2箇所クリックします。



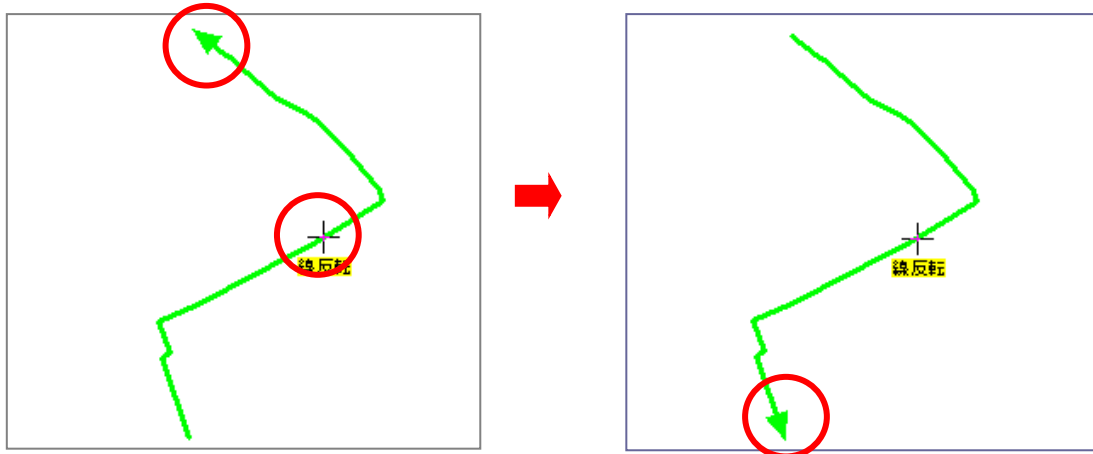
● [線の反転] (線データの方向を反転します。)

① ツールバーの「編集レイヤの選択」から、編集対象のレイヤを選択しておきます。

② メニューバーから【編集】→【線の反転】を選択します。  
カーソルに「線反転」という文字が現われます。

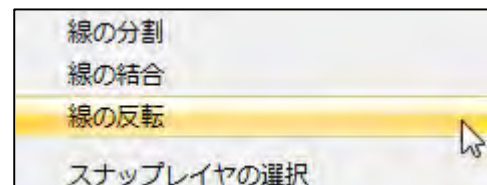
「線反転」モードは右クリックで解除されます

③ 反転したい線をクリックすると即座に線の方向が反転します。

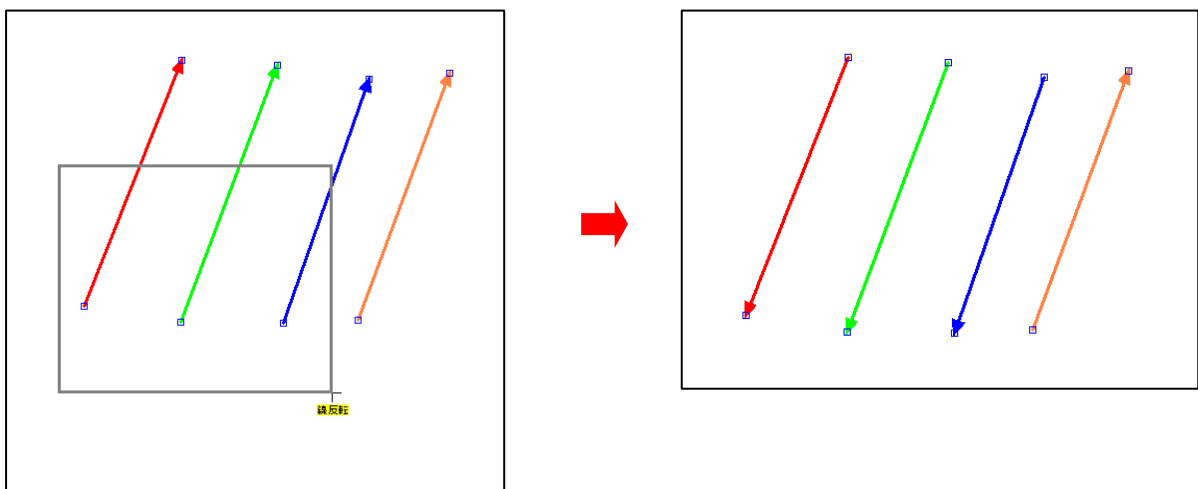


地図太郎 PLUS の線の反転 (一括反転)

① メニューバーの【編集】→【線の反転】を選びます。



② ドラッグで囲み、反転する線を選びます。  
ボタンを離すと反転します。



## 地図太郎 PLUS の線の結合

編集レイヤの線を結合します。結合したい2本の線の端点を選択すると結合されます。  
**「地図太郎 PLUS」**では2本の線の端点が重なっている場合、即座に結合します。  
 また、3本以上の線の端点が重なっている場合、線を選択するダイアログが表示されます。

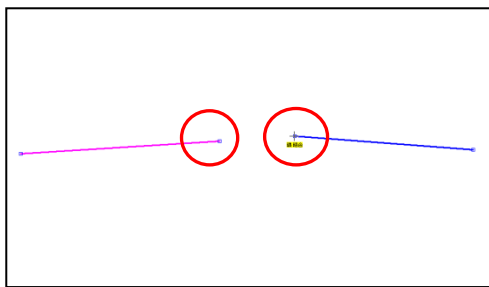
- ①メニューバーから【編集】→【線の結合】を選択します。  
 カーソルの下に「線 結合」という文字が現れます。



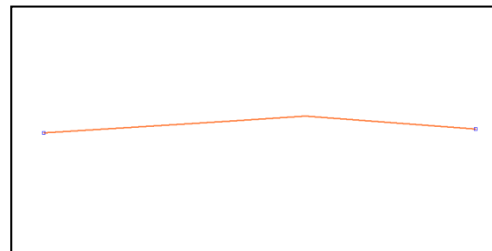
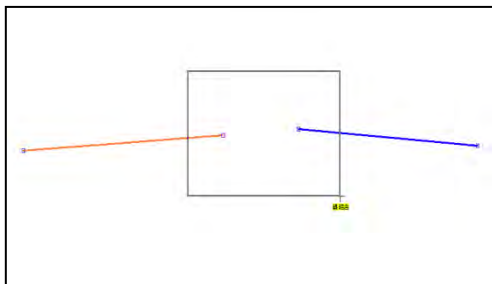
- ②2本の線の端点を選択すると結合されます。

### ●選択方法

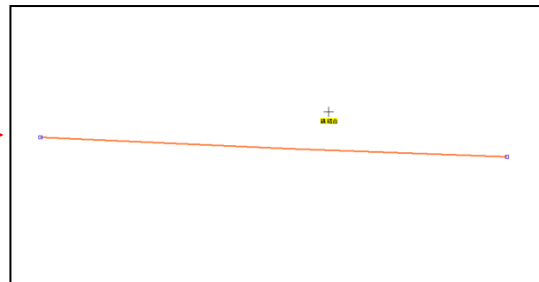
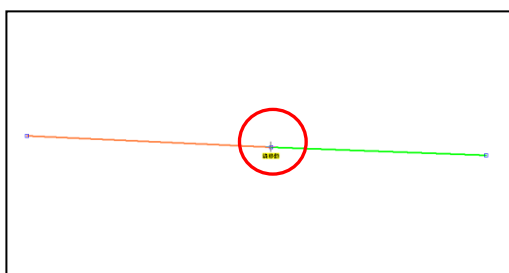
片方の端点をクリック、他方を[Ctrl]キーを押しながらをクリック



ドラッグで端点を選択

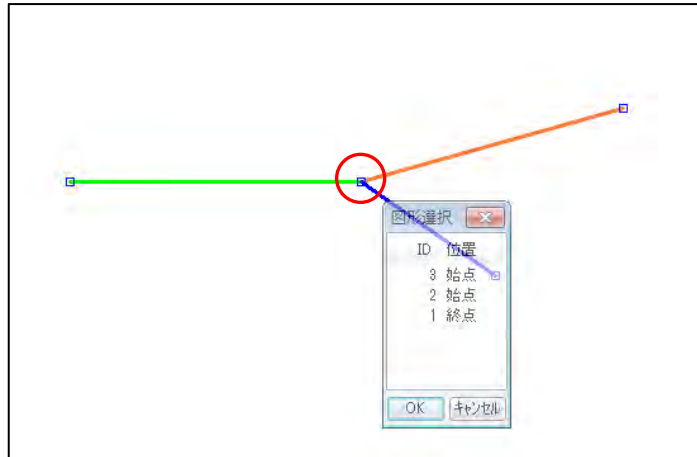


端点が重なっている場合、端点部分をクリックで結合されます。

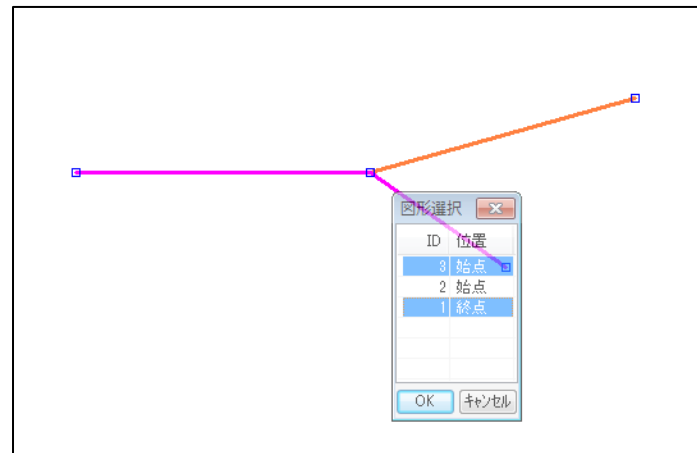


端点が 3 点以上重なっている場合

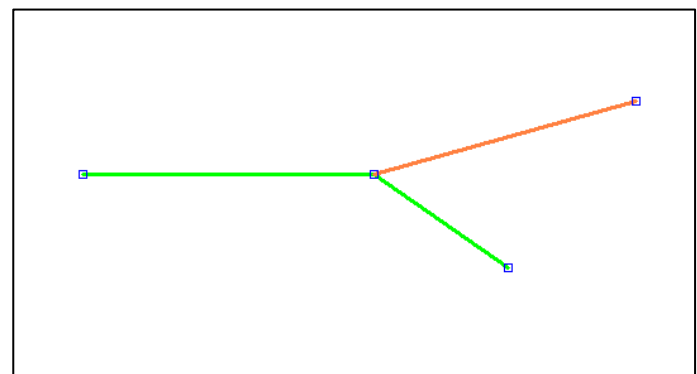
- 1) 端点の集合点をクリックします。



- 2) 「図形選択」ダイアログから結合する線を選びます。選ばれた線はマゼンタ色に変わります。



- 3) 「図形選択」ダイアログの [OK] をクリックします。線が結合されます



## (6) 線の延長・トリム【編集】PLUS

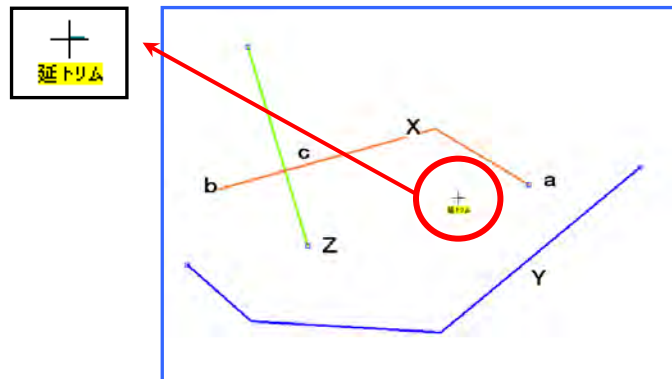
「地図太郎 PLUS」では編集レイヤの線を指定した線まで延長、または指定した線までトリム（削除）できます。

### ●線の延長

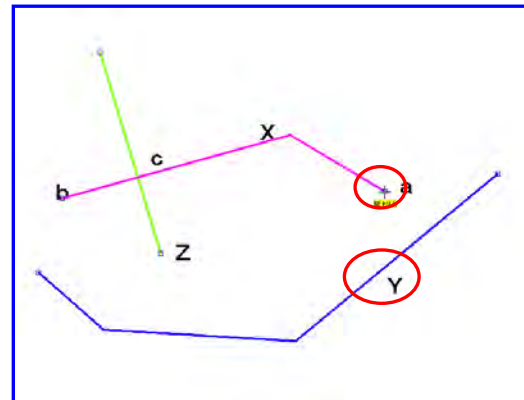
線Xを端点 a 方向に線Yまで延長します。（下記②の図）

①メニューバーから【編集】→【線の延長・トリム】を選択します。

カーソルの下に「延トリム」という文字が現れます。

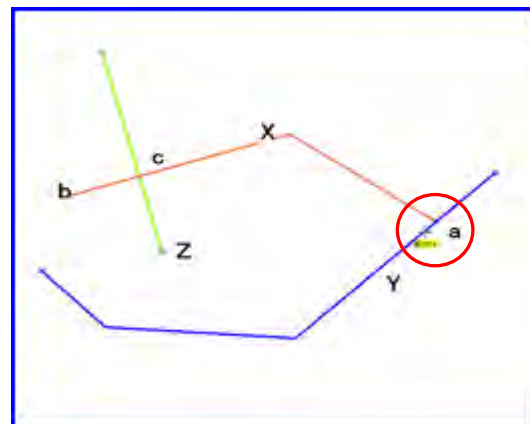


②延長したい線Xの端点 a をクリックします。つぎに、延長して接する線Yの線上（どこでもよい）をクリックします。



③線Yまで延長されます。

右クリックすると【線の延長・トリム】を終了します。

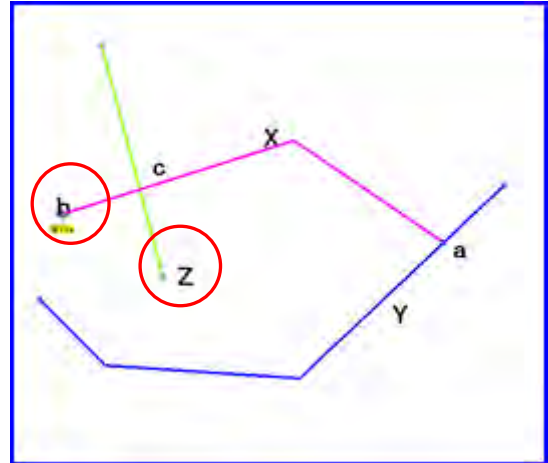


●線のトリム

線Zから見た線Xの端点b側の部分を削除します。(下記②の図)

①メニューバーから【編集】→【線の延長・トリム】を選択します。

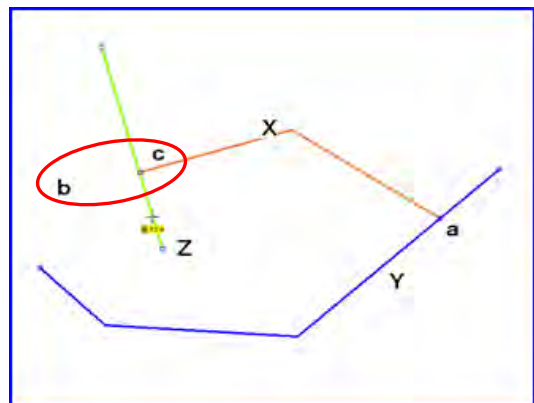
②切り取りたい線Xの端点bをクリックします。  
つぎに線Zの線上(どこでもよい)をクリックします。



③bc間が削除されます。

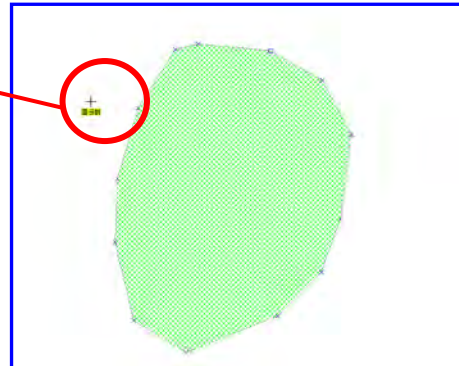
右クリックすると【線の延長・トリム】を終了します。

端点aを選んだ場合、ca間が削除されます。



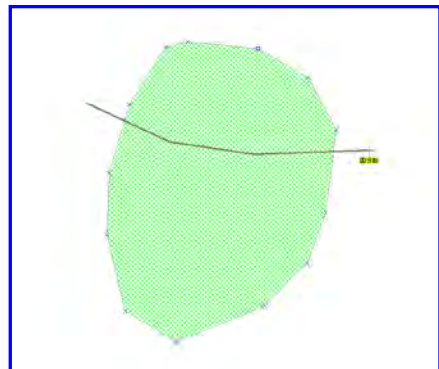
**(7) 面の2分割【編集】PLUS**

①メニューバーから【編集】→【面の2分割】を選択します。  
 カーソルの下に「面分割」という文字が現れます。



②2分割したい部分に沿って線をクリックしながら描きます。最後に右クリックします。

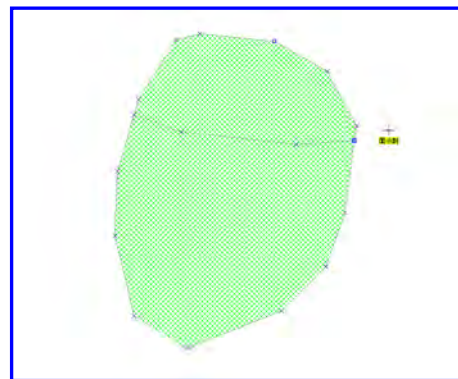
面のノード・補間点にスナップさせて線を描くこともできます。



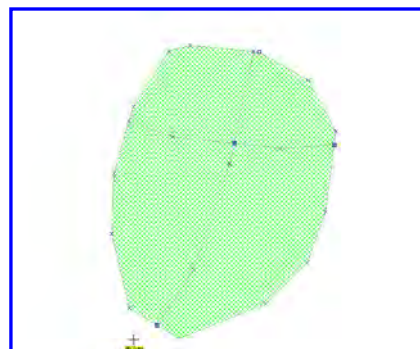
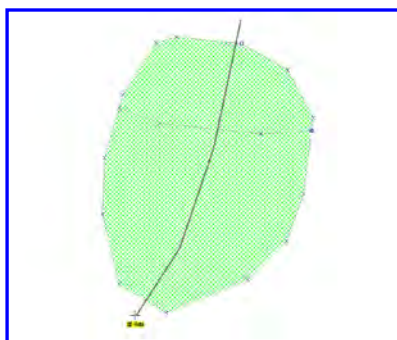
③面が分割されます。

右クリックすると【面の2分割】を終了します。

属性は、分割前の面データの持つものと同じになります。



面を2つに区切ることができる線であれば、同時に複数の面を2分割できます。



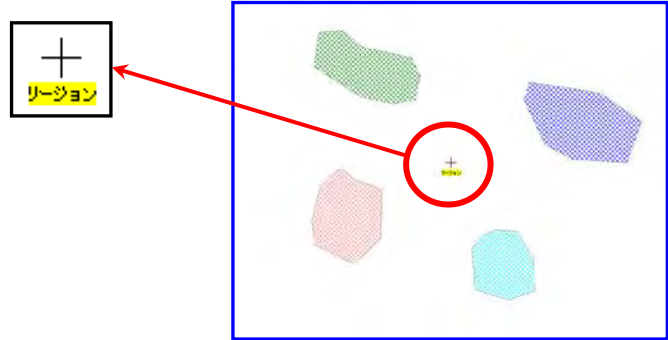


**(8) 面のリージョン化【編集】 PLUS**

リージョンとは、面データの集まりで、複数の面データを1つの面データとして認識するための仕組みです。複数の面データに属性情報は1つとなります。

①メニューバーから【編集】→【面のリージョン化】を選択します。

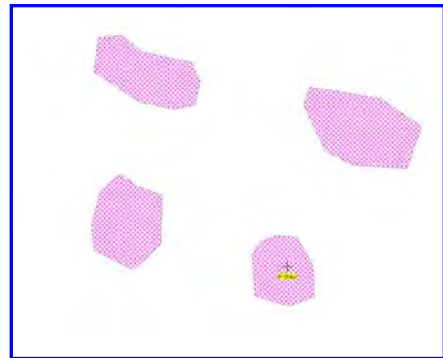
カーソルの下に「リージョン」という文字が現れます。



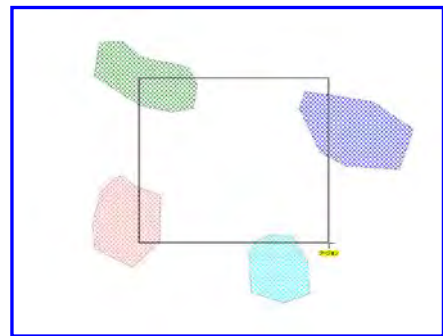
②画面の面データを選択します。

選択には2つの方法があります。

**方法1** : [Ctrl]キーを押しながら選択したい面データをクリックします

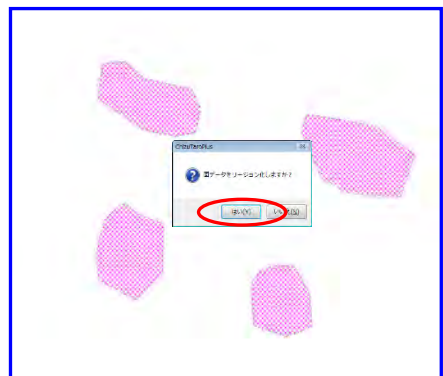
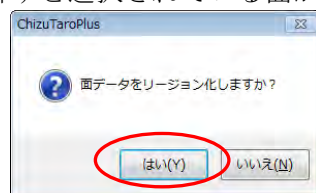


**方法2** : 選択したい面データをドラッグで囲み選択します。



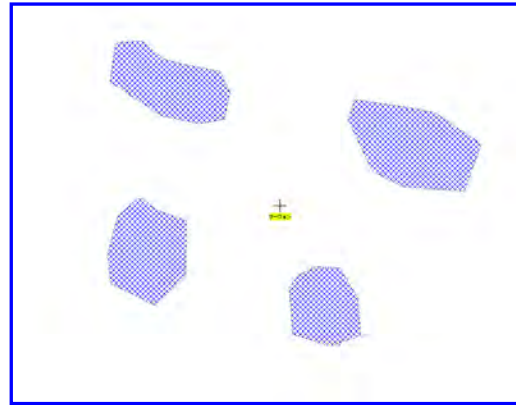
③選択後、右クリックすると、ダイアログが表示されます。

「はい」ボタンを押すと選択されている面がリージョン化されます。



リージョン化したデータの属性情報は、リージョンを構成する元の面データの中で最大面積のものとなります。

右クリックすると【面のリージョン化】を終了します。



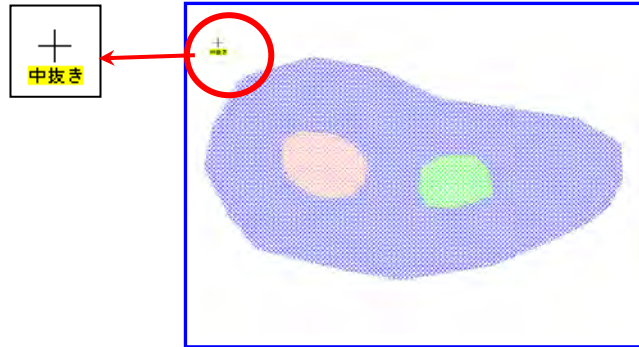
**注意** リージョン化した面データを2分割する場合、【面の中抜け・リージョン解除】でリージョン化を解除してから行います。

**(9) 面の中抜き (ドーナツ化) 【編集】 PLUS**

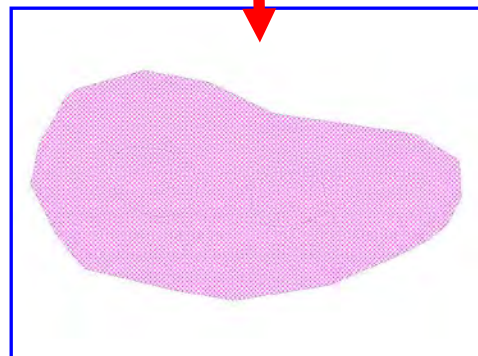
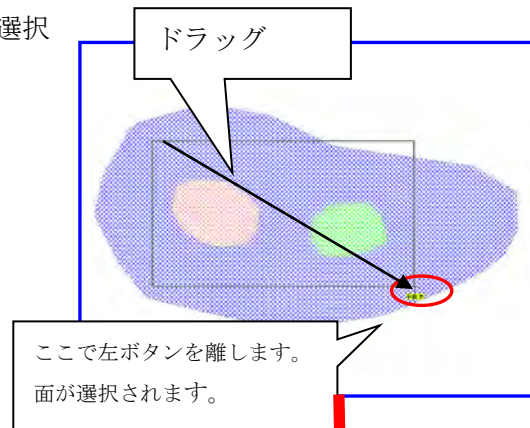
複数の中抜きがある面データを作成できます。まず、中抜きしたい面の上に中抜き用の面を作ります。

①メニューバーより【編集】→【面の中抜き (ドーナツ化)】を選択します。

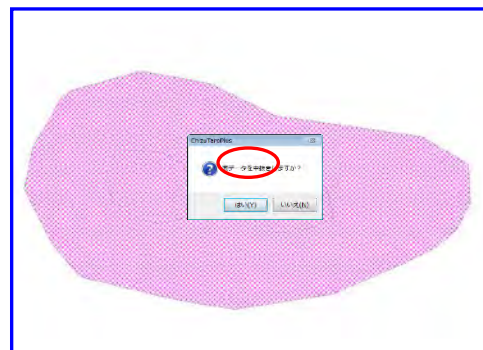
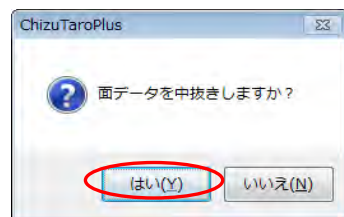
カーソルの下に「中抜き」という文字が現れます。



②中抜きに使用する面データを、ドラッグで選択します。

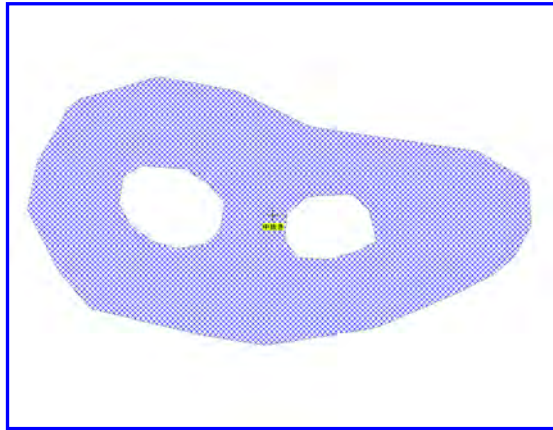


③右クリックします。ダイアログが表示されます。「はい」ボタンを押すと選択されている面が中抜きされます。



④中抜けのある面ができます。

右クリックすると【面の中抜き（ドーナツ化）】を終了します。

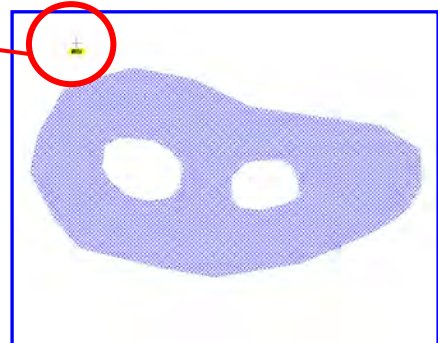


**注意** 中抜けのある面データを2分割する場合、【面の中抜き・リージョン解除】で中抜  
けを解除してから行います。

**(10) 面の中抜け・リージョン解除【編集】PLUS**

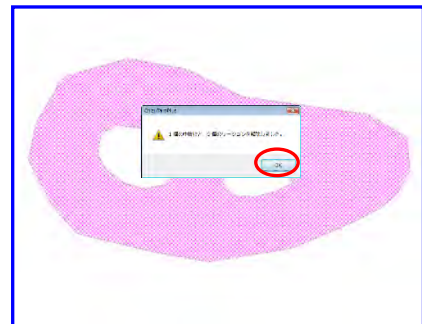
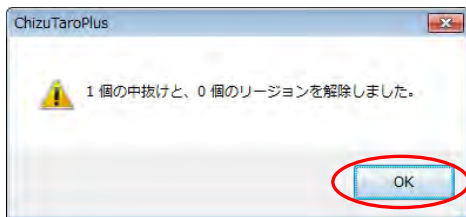
①メニューバーより【編集】→【面の中抜け・リージョン解除】を選択します。

カーソルの下に「解除」という文字が現れます。

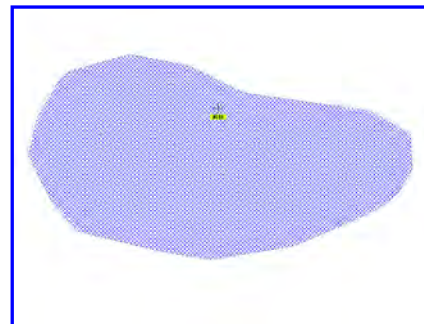


●面の中抜けの解除

①中抜けを解除したい面データをクリックまたはドラッグで囲み選択します。  
「○個の中抜けと、○個のリージョンを解除しました」ダイアログが表示されたら「OK」をクリックします。



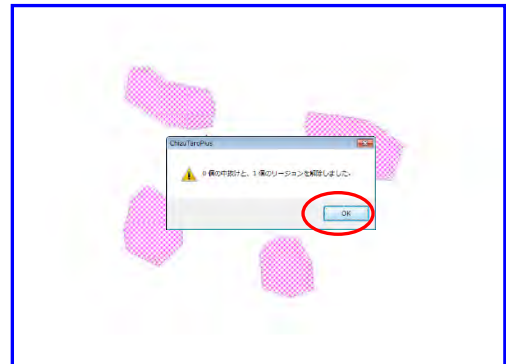
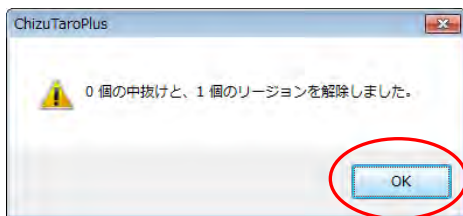
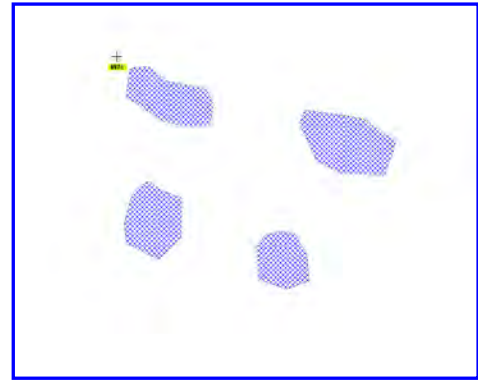
②中抜けが解除されます。  
右クリックして【面の中抜け・リージョン解除】を終了します。



●面のリージョンの解除

①リージョンを解除したい面データをクリックまたはドラッグで囲み選択します。

「〇個の中抜けと、〇個のリージョンを解除しました」ダイアログが表示されたら「OK」をクリックします。



②リージョンは解除され、それぞれ別の面データとなります。  
右クリックすると【面の中抜け・グループ解除】を終了します。

**注意** リージョンが解除されたとき個別の面データは全て同じ属性情報となっています。リージョンに中抜け面がある場合、リージョンのみ解除されます。中抜けはリージョンを解除してから解除します。

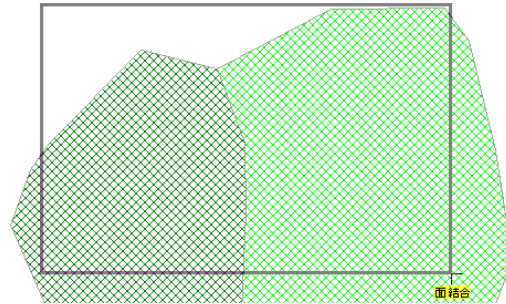
## (11) 面の結合【編集】PLUS

同時に複数の面データを結合できます。属性情報は結合に使われている面の何れかになります、選べません。必要に応じ、再度属性情報を設定します。  
中抜けやリージョン化している面データは結合できません。中抜け・リージョン解除を行ってから実行して下さい。

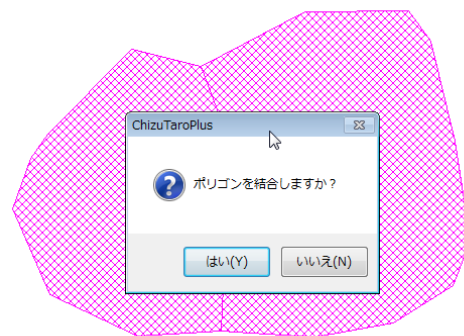
- ① 編集レイヤを面のレイヤにします。
- ② 【編集】→【面の結合】を選びます。  
カーソルの下に「面 結合」という文字が現れます。



- ③ 結合する面をドラッグで選択します。



- ④ 選択が正しいとき「はい」をクリックします。

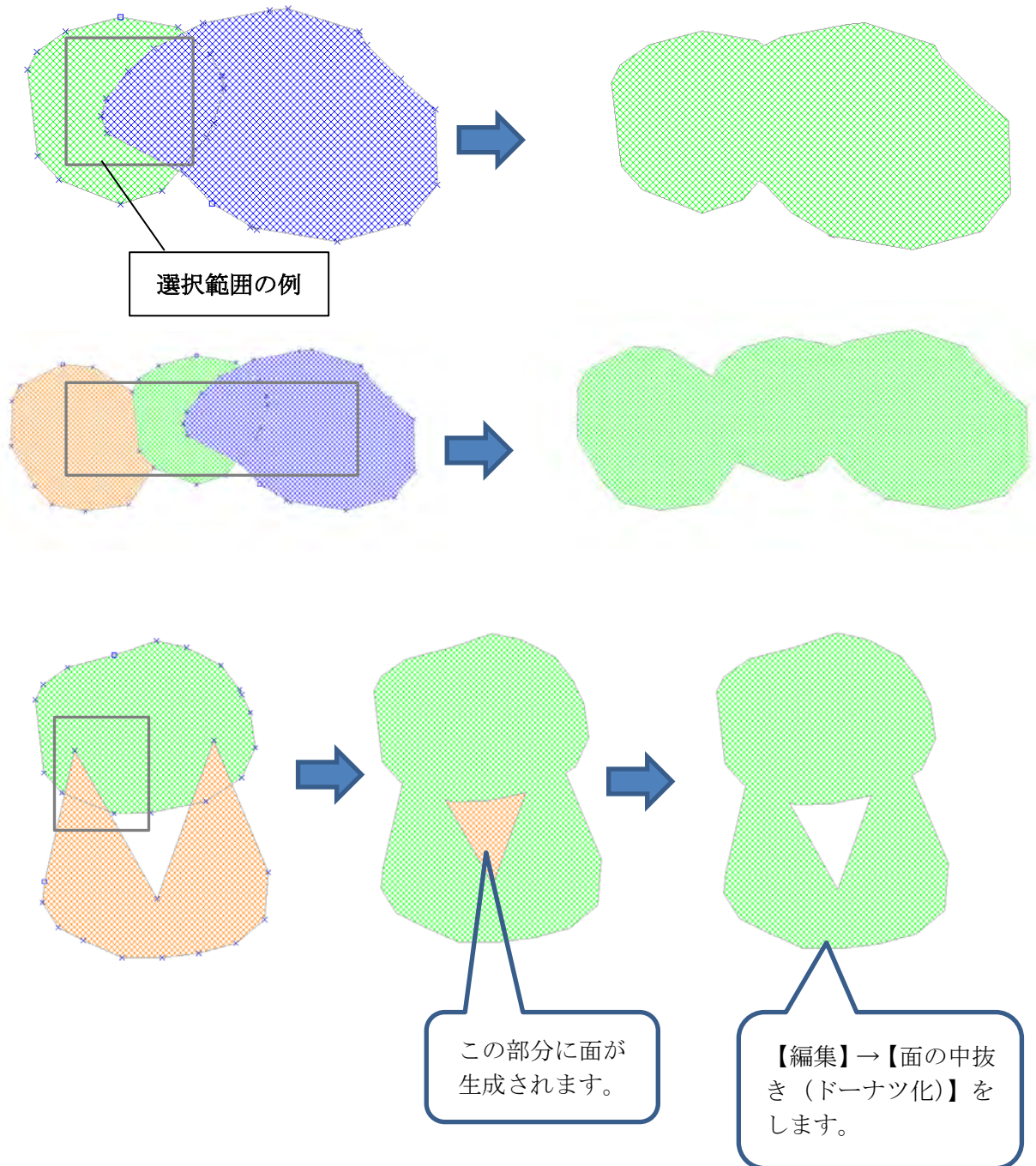


- ⑤ 面が結合されました。






● 結合例



## (12) 属性情報の確認・変更【編集】

入力した属性情報を見たり、変更します。通常下記の方法で行いますが、「属性情報のリスト表示」でリスト上の行をダブルクリックすると、「属性情報の確認・変更」ダイアログが出て、必要な追加や修正を加えることもできます。

図形の追加・削除・移動・形状変更と違って、属性情報はレイヤに関係なく点・線・面データをクリックして確認・変更することができます。

①メニューバーから【編集】→【属性情報の確認・変更】かツールバーの  を選択します。

カーソルに「属性」という文字が現われます。

「属性情報の確認・変更」モードは右クリックで解除できます。

②属性情報を確認・変更したい点、線、面の上にカーソルをもってゆき、クリックします。



③「属性情報の確認・変更」ダイアログが表示されます。

確認・変更の終了後は「OK」をクリックします。

「キャンセル」ボタンを押すとデータは変更されません。各入力項目間を移動するときは[Tab]キーを押します。

属性情報の確認・変更 観光.gen (点)	
タイトル	田中美術館 UserID 7
登録日	2004/10/22 <input type="button" value="カレンダー"/>
登録者	猪原 記号 <input type="button" value="家"/> 3621
キーワード	美術館 表示色 <input type="color" value="blue"/>
内容	日本彫刻界の巨匠で文化勲章を受章した平柳田中(1872-1979)の偉業を語る美術館です。井原出身で108才の生涯を閉じるまで創作に励んだ平柳田中の数多くの傑作が一堂に展示され、訪れる人に深い感動を与えています。
画像ファイル (BMP, JPG, PNG, TIF)	D:\2\操作方法\写真\田中美術館.JPG <input type="button" value="参照"/>
リンクファイル (URL, ファイル, フォルダ)	http://www.city.ibara.okayama.jp/cms-sypher/www <input type="button" value="参照"/>
備考	
更新日	<input type="button" value="カレンダー"/> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

「地図太郎 PLUS」の場合、情報ウィンドウの上で右クリックしても「属性情報の確認・変更」ダイアログが表示できます。

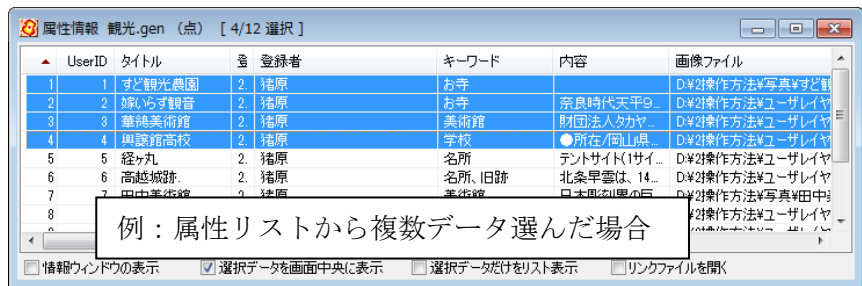
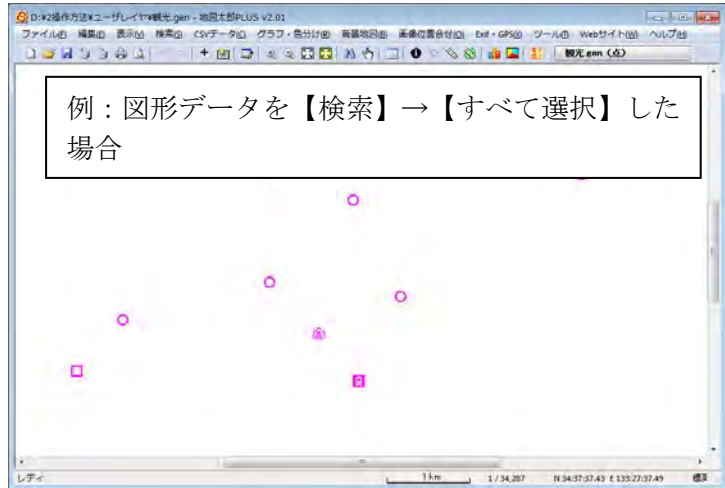
**(13) 属性情報の一括変更【編集】**

選択したデータの属性情報（タイトル、キーワード、記号、線幅、塗りや色等）を一括して変更できます。

属性リストから選択、図形データを選択（【検索】→【選択】、【すべて選択】）して一括変更が行えます。

①属性情報を一括して変更したいデータを選択する。

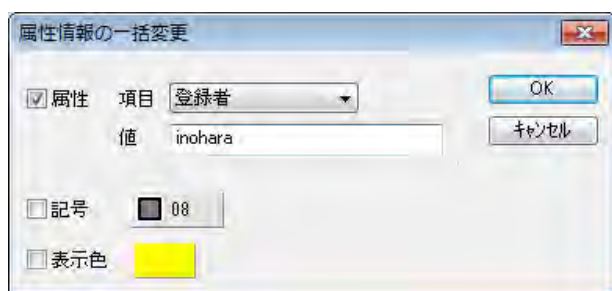
「手順3-2(1) 地図上の図形（点・線・面）を選択する」か「手順3-2(2) 属性情報のリストやカードから選択する。」を参照



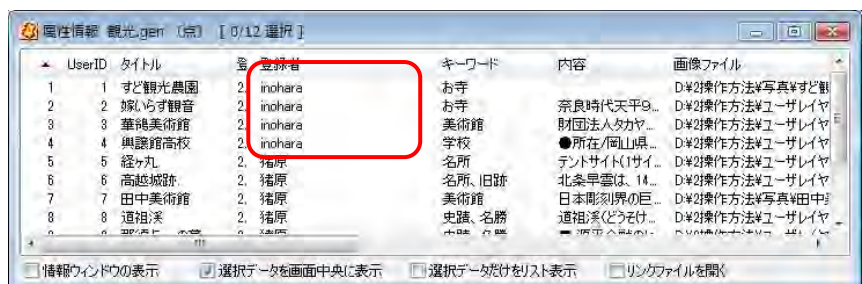
②メニューバーから【編集】→【属性情報の一括変更】を選択する。

③一括変更する属性の項目を選び、値を入力する(例:登録者を inohara に)

記号や色を変更したい場合、チェックを入れて選択する。



④登録者が inohara に一括変更されました。





## (14) スナップレイヤの選択【編集】

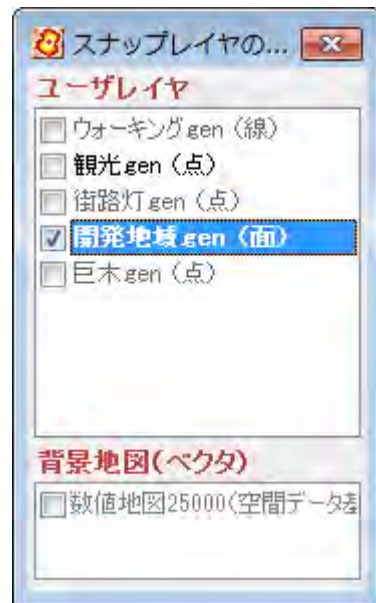
編集レイヤが線・面データの場合、追加や形状変更で端点や補間点を、他の端点や補間点または点データにスナップすることができます。編集レイヤが点データの場合、追加や移動で点データを、他の点データまたは線・面データの端点や補間点にスナップします。ただし、複数の点データをまとめて移動する場合は、スナップできません。  
初期設定ではスナップモードになっていません。


① ツールバーの「編集レイヤの選択」から、編集対象のレイヤを選択しておきます。

② メニューバーから【編集】→【スナップレイヤの選択】を選択します。

③ ユーザレイヤと背景地図（ベクタ）の中からスナップするレイヤにチェックを入れて選択します。

背景地図の数値地図 2500 と 25000 については、道路レイヤだけにスナップできます。



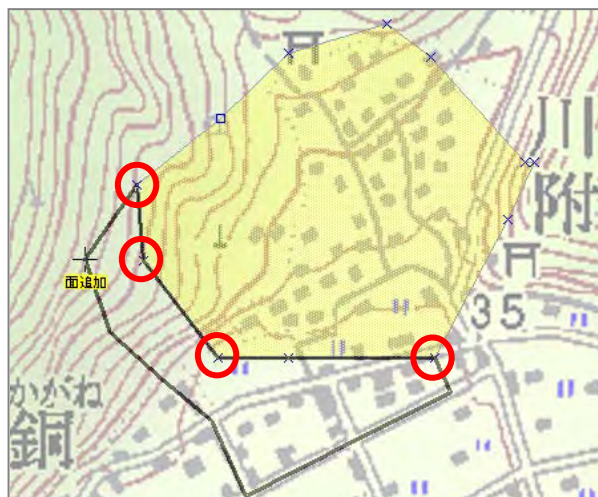
④ メニューバーから【編集】→【追加】を選択するか、ツールバーから  を選択します。

選択している編集レイヤの種類により、カーソルに「点追加」「線追加」「面追加」という文字が現われます。

「追加」モードは右クリックで解除されます。

⑤ スナップするレイヤの□（端点）や×（補間点）の上にカーソルを移動し、クリックすると自動的にスナップすることができます。

隣接した面データや線の交差部の処理に便利です。



## (15) 回転【編集】PLUS

点・線・面・注記データを回転します。

点・線・面データは任意の中心を指定して回転できます。

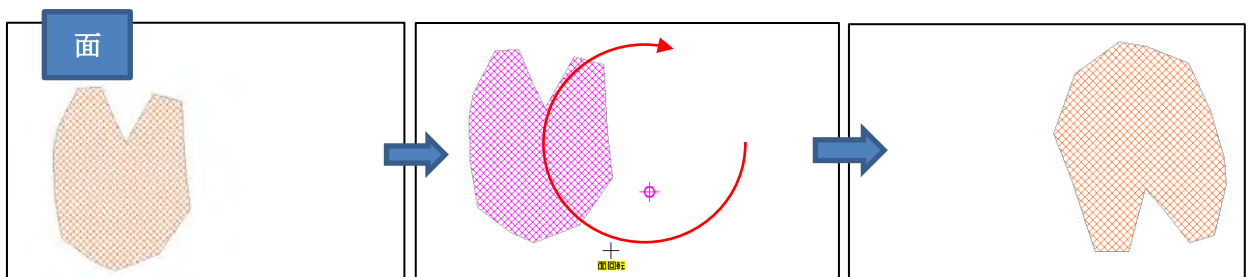
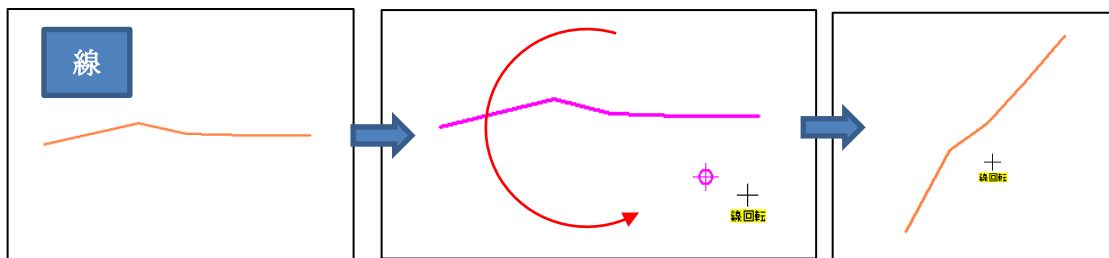
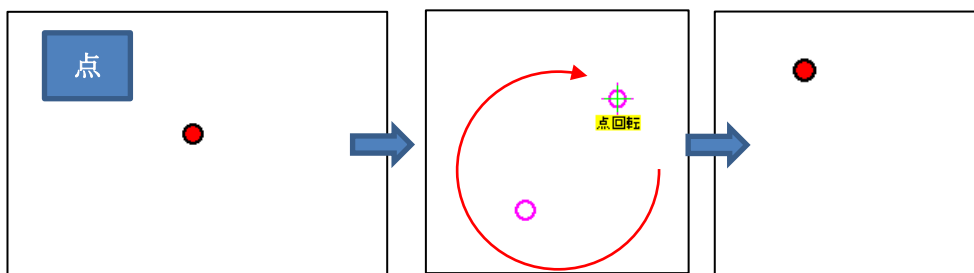
### ●点・線・面の回転

①「編集レイヤの選択」で回転したいデータの存在するレイヤを選びます。

②【編集】→【回転】を選びます。

③図形をクリックして次に回転の中心を決めクリックします。

最後に、図形データをドラッグして回転させます。



### ●注記データの回転

①「編集レイヤの選択」で回転したいデータの存在する注記レイヤを選びます。

これ以降は

「注記レイヤの新規作成【ファイル】PLUS」を参照してください。